

# 月刊 グラフィックサービス

## No.857 2023 04



### ■ 巻頭言

**土佐の大風呂敷～夢を着に酒を呑む～**

—— 高知大会実行委員長 坂本圭一朗

### ■ 巻頭企画

**町づくりは情熱をつなぐ仲間づくり**

大分・(株)クリエイツ 山香町の地域活性化

### ■ 連載

**業態進化のすすめ③**

ドローン事業の展開と印刷創注

### ■ NEWSとお知らせ

年賀状デザインコンテスト募集開始!





## 会員の皆様へ

この度、広報委員会では昨年実施した皆様へのアンケート調査をもとに、ジャグラ機関誌の役割等を見直し、右記の発行趣意書をまとめました。本趣意書策定に際し、ジャグラの「業界理念<sup>\*</sup>」を改めて読み返しましたが、そこに書かれている存在意義や行動姿勢は何十年も経った今も遜色なく、私たちが守り続けてゆくべき規範だと考え、趣意書にもそのキーワードを盛り込んでおります。先人たちの想いを皆様と共有しながら、より一層、時代に即した機関誌の発行を目指して努力してまいります。今後とも広報事業へのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広報委員会 委員長 本村豪経  
委員一同

※現在のジャグラの「業界理念」は「軽印刷からグラフィックサービス」へ名称変更をした業界CI事業の際にまとめたものです。20ページに掲載しましたので、ご一読ください。

## CONTENTS

### ■ 巻頭言

- 1 土佐の大風呂敷～夢を肴に酒を呑む～  
高知大会実行委員長 坂本圭一郎

### ■ 巻頭企画

- 2 町づくりは情熱をつなぐ仲間づくり  
大分・(株)クリエイツ、山香町の地域活性化  
同社・常務取締役 佐藤 愛子

### ■ 特別企画

- 20 ジャグラの道標「業界理念」とは？  
今、改めて先人からの“贈り物”を読み直してみる

### ■ 連載

- 26 業態進化のすすめ③  
～新技術を取り込み強い会社になろう～  
ドローン事業の展開と印刷創注  
秋田・(株)くまがい印刷さんの事例

### ■ NEWSとお知らせ

- 23 年賀状デザインコンテスト募集開始!

## 月刊

# グラフィックサービス

発行 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会

## 月刊グラフィックサービス 発行趣意書

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様へ、自社の質の向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

### 【概要】

- 発行回数 月1回 / 年間12回
- 購読料 ジャグラ会員は無償(会費に含む)
- 配布方法 ・全会員へ直接郵送  
・ジャグラホームページからのダウンロード  
・希望企業、団体への有償配布

### ■ NEWSとお知らせ

- 6 ジャグラBBホットニュース
- 7 広報関連3業務・委託業者募集のご案内
- 9 4月からの給与計算、法改正対応について
- 12 「事業再構築補助金」のご案内
- 16 各種統計データのご案内
- 23 5.18・19 JP2023展 インテックス大阪で開催!
- 24 業界の動き  
宮城県支部「営業戦略とDXの活用」セミナー開催  
SPACE-21が金沢で全国交流キャラバン in 北陸を開催
- 22 雑学コラム 29 事務局日誌と今後の予定
- 8 (株)研美社
- 10 富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)
- 11 東京リスマチック(株)
- 14 リコージャパン(株)
- 15 ホリゾン・ジャパン(株)
- 18 (株)ショーワ
- 19 (株)モリスワ
- 表4 リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)

# 土佐の大風呂敷 ～夢を肴に酒を呑む～

高知大会実行委員長 (高知 / (株)リーブル) 坂本圭一郎



昔から「土佐の大風呂敷」という言葉があります。幕末の志士たちの時代から使われるようになったのかも昔からののかよく分かりませんが、要するに「太いことを言いもって(大きなことを言いながら)夢を肴に酒を呑む」ということです。

男は男らしく女は気丈に生きた、そういう豪気な時代があり、今でも土佐人の多くはそのDNAが魂に刻まれているような気がします。(実は、私は九州熊本の出身なのですが、どうにも土佐の水が合い過ぎてか根っからの土佐人と思われることも多いです……)

さて、ジャグラ文化典高知大会ではスローガン「揺れる!沸き立つ!ジャグラグラグラ～」という大風呂敷を広げていますが、それはジャグラや業界に対しての愛と志あればこそ。



「坂本アッコ」が皆様をお迎えます  
(編集注:坂本氏本人の扮装です)

もちろん、ジャグラコンパクトDXの取り組み(生産性向上・単品損益管理・業態進化・地域活性化)は素晴らしいと思いますが、もっともっとそれぞれが描く夢や志、使命、誇り、情熱など「太いこと」=「最大限の可能性」を本音で熱く語り合える大会にしたいと思っております。

思えば17年前、前職(塾講師)でポロポロになり、うつ病寸前だった私を拾ってくれたのが今の会社でした。印刷の営業なんて本当にできるのだろうかという不安からスタートしましたが、少しずつ印刷や出版・デザイン・企画などの仕事の面白さを知り、温かい仲間の社員やお客様、同業者、仕入れ業者、協力会社の皆さんのおかげで成長し、気がつけば社長という大役を任せられるようになり、コロナ禍で厳しい状況ではありますが充実した幸せな日々を送っています。

ここまで育てていただいた皆さんのためにも少しでも業界のために恩返ししたいと思ひますし、みんなでもっと魅力ある業界に盛り上げて、次の世代にも恩送りをしなければならないと思ひます。

さあ、高知大会ではこの大風呂敷を広げて、皆さんに土佐の粋を存分に味わっていただき、ともにジャグラの心意気と愛と誇りを再確認しようではありませんか。

一人でも多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール [edit@jagra.or.jp](mailto:edit@jagra.or.jp) 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛





日印産連・地方創生事例発表会「じゃぱにうむ2023」より

# 町づくりは情熱をつなぐ仲間づくり

大分・(株)クリエイツ 山香町の地域活性化



同社・常務取締役  
佐藤 愛子

かつては棚田が広がっていた大分県杵築市山香町の里山

2月17日、日本印刷産業連合会（以下、日印産連）が主催する印刷産業の地方創生事例発表会「じゃぱにうむ2023」が開催され、作家・経済ジャーナリストの渋谷和宏氏による基調講演に続き、日印産連傘下10団体を代表して6社が地方創生の事例を発表しました。ジャグラからは(株)クリエイツ（大分県支部）の佐藤愛子常務取締役が登壇し、「町づくりは情熱をつなぐ仲間づくり」をテーマに、大分県杵築市山香町の地域活性化の事例を発表しました。

×

## システム開発から豚まんづくりまで

上の写真は一見すると、「のどかな里山の風景だなあ」と感じるとは思います。でもこの辺り、本当は田んぼなんです。以前は棚田が素晴らしい景色だったんですが、これが山香町の現在です。私のお話する地域活性化は、特別な技術やシステムを活用して何かを成し遂げたというような話ではなくて、人がつながっていく過程やつなぐためにどういったことに力を注いだのか、そこから生まれたモノが何なのか、そのような内容です。

DXに取り組んでいることが当たり前の時代です。私たちはどんどん進化するIT技術を上手に活用し、成長していかなければなりません。それはつまり、「人にしかできないこと・人だからできることは何か？」ということを常に意識しなければならないということです。それを考える一つの素材として聞いていただければ幸いです。

弊社の創業は軽印刷で、今でも印刷が売上の大半を占めています。それ以外の事業を3つご紹介します。

1つめの事業はJKCのドッグショーのサポートです。JKCとはジャパンケネルクラブの略称で、全国の犬の血統を管理する組織です。血統書付きの犬の個体情報（いわゆる戸籍）は、すべてここに登録されます。皆さん「チャン

ピオン犬」って言葉を聞かれたことがあると思いますが、このドッグショーで生まれます。JKCはこのドッグショーを全国各地で開催していて、1回に最大約1000頭の犬が参加します。

ドッグショーの申込みに必要な情報は、犬の名前、犬種、個体番号、生年月日、取得資格、両親の名前、取扱者の名前・住所等々です。この大量の情報を正確に処理して短時間で印刷物に仕上げる必要があるため、それを自社製のデータベースシステムで処理しています。これにより、ドッグショーの質と効率アップに貢献しています。

2つめの事業は出版です。マークエステルさんというフランス人画家で、日本に移住して約50年、神話をテーマにした作品を、全国の神社に奉納されています。その功績が認められ、文部科学大臣表彰を受賞されるなど活躍されています。弊社は縁あってマークエステルさん監修のもと、神話の絵本を製作し、出版しました。さらにその絵本の朗読や神楽を舞うイベントを開催しながら、絵本のPRにつなげたり、日本神話というものを知っていただく活動を行っています。

3つめの事業は「ぶたまんの店 幸崎」の事業です。別府の幸崎さんは豚まん1種類だけで50年営業されていますが、弊社は12年前から販促のお手伝いを始め、POPやのぼり等の製作、お祭りへの出店、工場の改善や冷凍保存の仕組みを整えました。別府観光のお土産にしてもらえるように新商品も開発しました。それが「別府温泉ぶたまん」です。生地に温泉水を練りこんでいます。パッケージも試行錯誤しながらできあがったもので、冷凍の袋のままレンジで1分加熱するだけで、蒸したての豚まんが食べられるようになっています。現在は弊社が事業承継をしております。工場や店舗の運営をしながらイベントの出店なども引き続き行っています。

(株)クリエイツ が手がける多様な事業 (印刷以外)



JKCのドッグショー関係  
出場犬の登録データベース(上)、関連印刷物(下)



別府温泉ぶたまん

別府温泉ぶたまん  
各地イベントでも販売しています(下)



マークエステル氏の絵本出版  
関連活動も共同開催(上)、絵本全集(下)



## 印刷青年団体のイベントを機に地元活性化へ

さて本題です。今回の舞台となる杵築市山香町の知名度は限りなくゼロに近いと思います。山香町は大分県の北東部、国東半島の付け根にあり、周りはすべて山に囲まれています。八坂川の源流に沿って田園風景が広がる、静かな山里です。この町は昔から稲作や畜産が盛んです。世界農業遺産にも認定されている地域で、とてもおいしいお米が育つ地域です。

ですが全国のあらゆる地方で「過疎化」が課題となっている中、山香町も同様で、1990年に1万人だった人口が2020年には6200人になり、ついに先月6000人を割ってしまいました。ここから先は一気に減少が加速します。もう決まっています。なぜかという、現在、町の人口の高齢化率が45%！つまり2人に1人が65歳以上なんです。ですから2030年、つまりあと7年で今の人口が半分になると言われています。現在でも労働人口が不足していて、限界集落へ待たなし。実はこの町は私のふるさとで現在も住んでいます。なので以前から、この状況を何とかしたいと思っていました。

山香町は平成の大合併で2005年に杵築市になった町ですが、杵築市中心部は城下町なのでどうしても市税は城下町の観光事業に流れていきます。山香町民の声もなかなか

行政に届かないのが現状です。そういう状況の中、行政に頼らず、自分たちで町を良くしていこうと立ち上がった方々がいます。それが(株)山香社中さんです。若者が住み続けたいと思える町づくりを目指そうというのが設立目的で、代表は85歳。若い人も2名いますが、平均年齢は65歳と高齢者です。山香社中さんは第1期目の事業として、クラウドファンディングによる「田んぼ再生計画」を実施しました。

同じ頃、私はプリントネクスト2022というイベントに、九州ブロックメンバーとして参加していました。プリントネクストは、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、団体の垣根を超えた全国青年印刷人のイベントです。2年に1度、8ブロックに分かれてテーマに沿った活動をし、その成果を発表するイベントで、今回、九州ブロックは山香社中さんに「共同で町の活性化に向けた取り組みをしませんか？」と提案したのです。

最初からすんなり受け入れてもらえるわけではなかったもので、まず、協力的だった山香社中の一番若い方に「山香社中が求めているものや課題」についてヒアリングを行い、ブロックメンバーで協議を重ねました。そして「山香町の関係人口を増やすこと」という目標を決めました。そのた





めには山香を知ってもらい、山香を好きになってもらう必要がある。具体的な施策を下記のとおり決めました。

**休耕田再生計画事業をお手伝いし、山香社中さんとの距離を縮め、活動内容を SNS 等を通じて発信し、そして、もっと深く知ってもらうために山香に来てもらえるイベントを実施する。**

田植えと稲刈りはすべて手作業です。これは稲作を体験していただきたいのと、掛け干しで収穫したお米の付加価値を高めるためです。私たちも一緒になって作業をしながら、地元の人やクラウドファンディングの参加者と交流しました。さらに町を散策しながら、SNS などで情報発信を続けました。

そして私たちは、町に人を呼ぶイベントを山香社中さん主催でやろうと提案しました。地域の活性化は地元の人を中心になってやるのが大事だからです。コロナ禍だったので、密を避けることができるスタンプラリーをすることにしました。スタンプラリーはデジタルで行いました。そうすることで効果測定が可能になりますし、生産年齢人口にアプローチできるという「狙い」もありました。賞品に山香米や町の特産品を積極的に取り入れ、山香の PR につなげました。告知動画も作成し、SNS で拡散しました。

このイベントを行う上でのキーワードは、「人」です。地域の魅力は、何よりも「人」です。その町の魅力を知る一番の近道は、そこに住む人たちの文化や日常、人柄に触れることです。なのでチェックポイントをどこにするかを決める際、「人と触れ合える場所」ということを重視し、そうすることで人の「つながり」を創りました。

その結果、SNS のフォロワー数の増加やスタンプラリーの参加者取得ができました。イベント名は「山香町 ふる

さとつなぐスタンプラリー」。これは外の人と山香町民をつなぐ——という意味で名付けたのですが、町の人たち同士もつながって行って驚いています。コロナ禍でなかなかできるイベントが無く、スタンプラリーにしましたが、結果的に人をつなぐ格好のイベントになりました。ここまでがプリントネクストでの取り組み内容になります。

### ■ 仲間と一緒に地域活性化の法人設立

プリントネクストが終わり、ここからは弊社と地域との話になります。きっかけができたので、今後も町の人たちで活性化に向けての取り組みをと思っていた矢先、町唯一の宿泊施設「風の郷」が無期限の休館となりました。指定管理者が突如撤退したためですが、休館について誰も直前まで知らなかったのが本当にショックでした。でも、落ち込んではいられないので、「この指とまれ」ってやったんです。

田んぼ再生事業やスタンプラリーに積極的だった地元の人に声掛けし、若い有志たちが集まってくれました。最初は6名でした。会議を重ねていくうちに、少しずつメンバーが増え、現在は24名。メンバーの職種もいろいろで、市議会議員や、水道屋、時計屋、お寺の住職、山香町に移住したばかりのミュージシャンやユーチューバーがいました。組織名を「山香会議」と名付け、町の清美やイベントのボランティア、たまにバーベキューなどのレクリエーションで親交を深めながら、一番の願いである、「風の郷」の営業再開のために、自分たちに何ができるか話しあっていったんです。

「風の郷」は、杵築市の委託事業で運営するので、指定管理者がいないと営業は再開しません。山香会議は法人ではないので管理者に立候補ができない。そこで、山香会議のメンバーの一人が手を挙げ、あらたに会社を立ち上げたのが、「一般社団法人やまが地域創生機構」、通称 YAR0e（やろうえ←大分弁です）。JTB や大手 IT 企業の㈱ザイナスが参画して、かなり頼もしい法人です。「風の郷」の指定管理者に立候補するための企画会議を何度も重ね、杵築市の公募を待って申請しました。その間も、「やろうえ」が今できることをやろうと、念願の第2回目デジタルスタンプラリーを開催しました。準備には山香会議も積極的に関わってくれたのでスポンサーもたくさん集まり、参加者も前年を大きく超え、内容の濃いスタンプラリーになりました。

た。参加賞のお米の袋に貼ったラベルには、山香会議のメンバーであるお寺の住職が書いてくださった絵が描かれています。この住職は絵の入った御朱印を対面しながら一人ひとりに丁寧に描かれるので、県外からお参りに来られる方も多いのです。ですから、ラベル用にオリジナルで絵を描いていただいたことに感謝です。

その他、地元の大イベント「山香ふるさとまつり」に出店、企画会議にも参加してイベントを盛り上げました。こうして「やろうえ」を設立したことにより、山香町活性化の持続性を担保することができました。

「やろうえ」の今後の展開計画をご紹介します。この大分農業文化公園は年間33万人が訪れる集客力のある県立公園で、これが山香町にあるんです。ですが、山香町の端っこにあって別府が近いので、ここに来る利用者は山香町には流れない。「やろうえ」は来月3月から、この大分農業文化公園と学校法人ザイナスアカデミーの3社で連携し、公園と山香町のパイプを作ろうとしています。来園者を宿泊や温泉で「風の郷」に誘導したり、収穫や調理体験、農業 IT 研修など、地域総括のツーリズムを展開していく予定です。

実は朗報が入りまして、「風の郷」の指定管理者が「やろうえ」に決定しました。数社の企画資料やプレゼンの中から選ばれました。なのでこれから、「風の郷」を拠点として活動することができるので、山香町で使える地域通貨の発行や、サブスクによる施設利用なども計画しています。

### ■ 人のつながりが生み出すモノ・コト

弊社と「やろうえ」の関係ですが、山香会議発足時最初の6人が集まった時からの仲間なので、「やろうえ」を設立する際にロゴ制作の相談をいただき、デザイン、名刺ほか印刷物を作成させていただきました。そのほか、スタンプラリーの運営、祭り出店のサポート、企画書作りのお手伝いなど、関わらせていただいています。

さらに、ここが大事なんです。今後の印刷に関わる業務全般を当社に任せるという確約もいただいております。「やろうえ」との関係だけでなく、町の人たちからも、当社が少しずつ認知されていって、このように、お仕事のお声掛けをいただくようになってきました。これらの仕事に共通しているのは、競争見積が無いところです。信頼をいただいているということだと私は思っています。

以上がこの地域での取り組みと、人のつながり、そこから発生したモノやコトについてのご説明です。まとめですが、地域の活性化に関わっていく上で私が一番大事だと感じていることは、その地域の方々との関係性をどう作り上げるかです。

「クライアント VS 業者」のままであれば、持続的な地域活性化はできないと思っています。課題に対し、一緒に解決していく「仲間」という関係性が大事で、そのためには、まず、その地域に対する愛情・思いがどれだけあるか。

実は私も一度は町を出たUターン者です。だからこそ感じるのかもしれませんが、この町の豊かな自然、歴史や文化はもちろんですが、ご近所さんとの自然な挨拶や会話を通して、都会に住んだ時より人口が少ないのに、この町のほうが「人と一緒に生きている」と感じます。なので、この町が好きだし、失くしたくないです。

それから、利益よりも目的を達成することを最優先する姿勢が必要で、私だけでなくそう思う人たちがつながって、仲間になっていくんだと。仲間がいると楽しいですね。楽しいところには活気が生まれ、必ずビジネスが発生します。今回で言えば、山香社中がいて、山香会議ができて、そういう人たちが軸にどんどん人のつながりができて、新しいモノ・コトが生まれる形になった。その象徴が「やろうえ」です。

「やろうえ」は生まれたばかりの社団法人で、まだまだ実績がありませんが、これから山香町の活性化になくてはならない存在になります。弊社は情報伝達のプロとして、「やろうえ」と連携をとりながら、山香町を広く発信していくことが、これからの使命だと思っています。

最後になりますが、私が地域活性化に向けての活動に携わることができたのは、弊社が持つ以下の3つの強みがあるからだと思えます。

- ①従業員がやりたいと思うことにチャレンジできる環境  
——これは経営者の方針で、「あなたたちの会社だから、良いと思うことはチャレンジしてみなさい」と常に社員に言っています。
- ②多能工で支え合う社員同士の信頼関係  
——1部署1人の会社なので、社内で勉強会などをしながら、他部署の補助ができる環境を整えています。
- ③少人数でも業務を回せるよう構築したシステム  
——工程管理は自社のデータベースシステムを使い、社外に居てもオンラインで操作できるようにしています。こういった会社なので、私は地方に居ても社員と連携しながらリモートワークで業務を止めることなく、現地で課題解決に向けての取り組みを続けることができました。これらが弊社の強みだと思えます。

自分も周りも、きっともっと変われると思うから、やりたいことがたくさんあります。人・モノ・コトをつなぎ、それに触れる人たちが幸せや喜びを感じられるように、これからもチャレンジを続け成長していきます。



スタンプラリーのチラシ(右)  
山香社中と田植え(下)



前ページ) やろうえ設立 右から5人目に筆者  
やろうえが指定管理者となった風の郷(下左) ロゴマークを制作(下右)







# HOT NEWS

広報委員会  
が選ぶ!

## おすすめ番組情報

いまずぐチェック!

ジャグラ BB | 🔍

イチオシ  
検品システムを  
通過した後の  
音に注目!



### 尼崎印刷のDX事例紹介 「封入検品システム」

業態進化委員会で取り組んでいる事例紹介動画をジャグラBBにて公開致します。大阪府支部の尼崎印刷株式会社(田治宏敬社長)で行っているピッキング/封入検品システムのDX事例を紹介いたします。

カテゴリー ニュース ジャグラ情報



## 広報関連 3 業務・委託業者募集のご案内 5.10 締切

ジャグラ広報委員会(本村豪経委員長)では、下記のとおり広報関連3事業の委託業者を募集します。入札に際しては価格だけでなく内容を重視します。下記仕様をご確認のうえ、ご提案書・見積書を5月10日(水)までに郵送(必着)または本部事務局までご持参ください。お問い合わせ・送付先はジャグラ事務局・田中まで(Tel03-3667-2271 / tanaka@jagra.or.jp)

### ジャグラ「広報アプリ」の 構築・デザイン設計・運用サポート 委託業者募集

#### ●アプリ概要

ジャグラ広報アプリは、会員の皆さまに最新の情報や見たい、知りたい情報をいち早くお伝えすることを目的とし、ジャグラホームページ・ジャグラBB・機関誌の最新情報をまとめてお知らせできるコンテンツとして活用していく。また、現在ジャグラ本部で活用しているSNS(Twitter・Facebook)との連携により、双方向での情報発信・取得ができるカタチを目指す。

#### ●発注内容

①アプリの構築 PWA・WEB ページ ②デザイン設計

③アプリ 申請補助(デベロッパー登録含む)

#### ●求める機能

①新着のお知らせ記事の表示 ②新着情報のプッシュ通知  
③バッジ機能 ④イベント情報 ⑤フォトギャラリー  
⑥スライド画像 ⑦動画視聴 ⑧WEB ビュー  
⑨SNS との連携 ⑩ジャグラホームページ・BB との連携  
⑪メニュー表示  
⑫管理画面機能(プッシュ通知開封率、ユーザー数等)

#### ●見積書・提案書(様式不問)について

①初期費用・デベロッパー登録・月額費は、別項目でお願いいたします。  
②上記以外のご提案については、別見積もりとしてください。

### 機関誌「グラフィックサービス」の 印刷・製本 委託業者募集

#### ●委託期間

本年7月号より1年間(2023年7月号~2024年6月号)

#### ●本誌仕様

①判型:A4判 ②頁数:32頁以上(表紙込み)  
③色数:表紙4C、本文前後4C、中面1C(本誌参照ください)  
注)②③は最低限仕様です。全ページ4Cなどの提案も承ります。  
④校正:表紙・本文ともPDFによるネット校正可能  
⑤入稿:Adobe CC 生データで入稿  
⑥印刷:印刷業者等で構成する一般社団法人が発行する機関誌としてふさわしい品質であること  
⑦部数:1200部

⑧納品:ジャグラ事務局・発送会社

⑨納期:校了後7営業日以内に発送すること(厳守)

⑩備考:印刷・製本に関しては、その種類(オフセット/オンデマンド、無線綴じ/中綴じ)問いません。

#### ●求められる環境

ネット入稿となりますので、自社サーバ必須です。(レンタルサーバ可。Gigafile 便等の汎用サービスの利用は不可)

#### ●見積書・提案書(様式不問)について

①印刷・製本の見積書としてお願いします。  
②印刷・製本以外=取材、制作(編集)、発送などのご提案については別見積もりとしてください。  
③本誌バックナンバー、ジャグラ総会資料などもご参考の上、ご応募ください。

### 機関誌「グラフィックサービス」の 編集・レイアウトデザイン制作 委託業者募集

#### ●委託期間

本年7月号より1年間(2023年7月号~2024年6月号)

#### ●本誌仕様および制作スケジュール

①~⑧までは「印刷・製本」と同じ  
⑨平均制作スケジュール:  
・発行月の前月第一週から中旬(12日前後)頃まで事務局より原稿を入稿。  
・規定の文字詰めルール等に合わせ、誌面をレイアウトデザイン。誌面制作(初校)  
・初校確認、修正同時進行。  
・再校確認、修正。  
・全頁最終確認後に納品(24日頃)

⑩校正回数:3回(初校、再校、最終)

⑪支給データ:文字原稿(Word、Excel)、画像データ完全支給(画像修正依頼若干あり)

#### ●求められる制作環境

Adobe InDesign 生データでの入稿となります。毎回、誤植などの修正作業が発生するため、Adobe CC 最新バージョンおよびモリサワ書体の所有は必須(奥付参照)です。

#### ●見積書・提案書(様式不問)について

①レイアウトデザイン、印刷データの制作見積書としてお願いします。  
②その他のご提案については別見積もりとしてください。  
③本誌バックナンバー、ジャグラ総会資料などもご参考の上、ご応募ください。  
④印刷・製本の委託と両方合わせての応募も受け付けます。

### 新入社員さんへの印刷基礎教育に📖

カテゴリー ニュース ジャグラ情報

#### DTP制作環境(ソフトウェア)



### 影山史枝の印刷・DTP基礎講座2020(1)

印刷および印刷関連事業者の基礎教育にご活用ください。本作は全4巻構成となっています。



### ちょっとひととき

カテゴリー BBネットワーク B-TuBe



### ツーリングのようす...

30秒の、おもわず笑っちゃうショート動画🤣





# 4月からの給与計算、法改正対応について 雇用保険料率が変わります

## 雇用保険料率の変更

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの雇用保険料率は以下のとおりとなりました。

- ①失業等給付等の保険料率は、労働者負担・事業主負担ともに6/1000に変更となります。
- ②雇用保険二事業の保険料率（事業主のみ負担）は、引き続き3.5/1000です。

## 月60時間超の残業に係る割増賃金率の引き上げ

4月より、月60時間を超える時間外労働の割増賃金率が引き上げられ、これまでは25%でしたが50%割増しで支払う必要があります。

### ■深夜・休日労働の取扱い

月60時間を超える法定時間外労働に対しては、使用者は50%以上の率で計算した割増賃金を支払わなければならない。

### ①深夜労働との関係

月60時間を超える時間外労働を深夜（22:00～5:00）の時間帯に行わせる場合、深夜割増賃金25%＋時間外割増賃金率50%となる。

### ②休日労働との関係

月60時間の時間外労働時間の算定には、法定休日に行った労働時間は含まれないが、それ以外の休日行った労働時間は含まれる。

※法定休日労働の割増賃金率は35%。

### ■代替休暇

月60時間を超える法定時間外労働を行った労働者の健康を確保するため引き上げ分の割増賃金の支払いの代わりに有給休暇（代替休暇）を付与することができる。

## 令和5年度の雇用保険料率

	①労働者負担 (失業等給付・育児休業給付の保険料率のみ)	②事業主負担		①+② 雇用保険料率	
		失業等給付・育児休業給付の保険料率	雇用保険二事業の保険料率		
一般の事業	6/1,000	9.5/1,000	6/1,000	3.5/1,000	15.5/1,000
令和4年10月～	5/1,000	8.5/1,000	5/1,000	3.5/1,000	13.5/1,000

中小企業の事業主の皆さまへ

2023年4月1日から

### 月60時間を超える時間外労働の割増賃金率が引き上げられます

◆改正のポイント  
中小企業の月60時間超の時間外労働に対する割増賃金率が50%になります

(2023年3月31日まで)	(2023年4月1日から)
月60時間超の残業割増賃金率 大企業は50% (2010年4月から適用) 中小企業は25%	月60時間超の残業割増賃金率 大企業、中小企業ともに50% ※中小企業の割増賃金率を引き上げ

	1か月の時間外労働 (1日8時間・1週40時間を超える労働時間)		1か月の時間外労働 (1日8時間・1週40時間を超える労働時間)	
	60時間以下	60時間超	60時間以下	60時間超
大企業	25%	50%	25%	50%
中小企業	25%	25%	25%	50%

※2023年4月1日から労働させた時間について、割増賃金の引き上げの対象となります。

(※) 中小企業に該当するかは、①または②を満たすかどうかで企業単位で判断されます。

業種	① 資本金の額または出資の総額	② 常時使用する労働者数
小売業	5,000万円以下	50人以下
サービス業	5,000万円以下	100人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
上記以外のその他の業種	3億円以下	300人以下

厚生労働省 中小企業庁

厚労省 HP よりパンフレットがダウンロードできます



# アプリも カードも

## 店舗集客を加速する顧客管理ツール

大阪本社 ☎06-6351-1766 📍大阪府都島区片町1-5-13 大手前センチュリービル5F  
東京営業所 ☎03-6228-3900 📍東京都中央区八丁堀2-20-9 八丁堀FRONT1F

# 研美社



社長がたまに踊る  
Instagram

## アプリ導入と印刷物の親和性はとても深〜いというお話

東京・中央支部 株式会社研美社 西岡佐記

アプリのご案内を同業者さんにすると「印刷の仕事が無くなるじゃん!」とお声をいただくこともございますが、この「デジタル化」——果たして紙の印刷物は不要となるのでしょうか? 実は印刷物とアプリの親和性はとても深〜いんですよ!

### ■事例1: 菜の花エッグ様 たまごアプリ

養鶏場を経営されているたまご屋さんのアプリです。たまごのバックの中に賞味期限等を印刷している短冊紙が入っていますよね? お客様は、この短冊裏面に「アタリ or ハズレ」のくじ印刷をされ、アタリ券を2枚集めて郵送すると、地域で利用できるお食事券と交換できる——という地域循環のビジネスモデルを実施していました。今回、当社のアプリで、このくじをQR化→アプリで読み取り→ポイントを集める→一定数貯まったところでクーポン化しデジタル化に変更! ポイント利用の際もアプリを通じて店舗でクーポン消化する仕様になりました。従来、印刷は別会社が受注していましたが、バリエーションの対応が難しいというこ

とで、アプリと一緒に短冊印刷のご注文も頂く運びとなりました。

### ■事例2: 業界団体様向け 広報アプリ

業界団体の会報誌や社内報を扱っているジャグラー会員企業も多いと思います。印刷物とあわせて、アプリならではの機能（プッシュ通知・クーポン・スタンプ・アンケート等）を付加価値としてご提案するのはいかがでしょうか? 発信情報をタイムリーにスマホにもお届け。印刷物の認知UPのトスアップを担ってくれます。また、アプリの管理画面からは既読率やユーザーの属性を知ることができます。運営側とユーザーとの双方間コミュニケーションのスピードが速まり“ユーザーの声”を掴みやすくなります。

当社では「初期費用19万8000円から/月額費用2万円から」でアプリ制作を行っております。是非、皆さまのビジネスのお供になれるツールとしてご検討ください。

アプリが出来ました!

抽選ガチャをまわしてポイントを集めよう!

貯めたポイントはクーポンに交換できます

クーポンは千葉・東京の100の飲食店で使えます

ハズレなし

たまごの豆知識

社内報アプリ

学校・法人向け



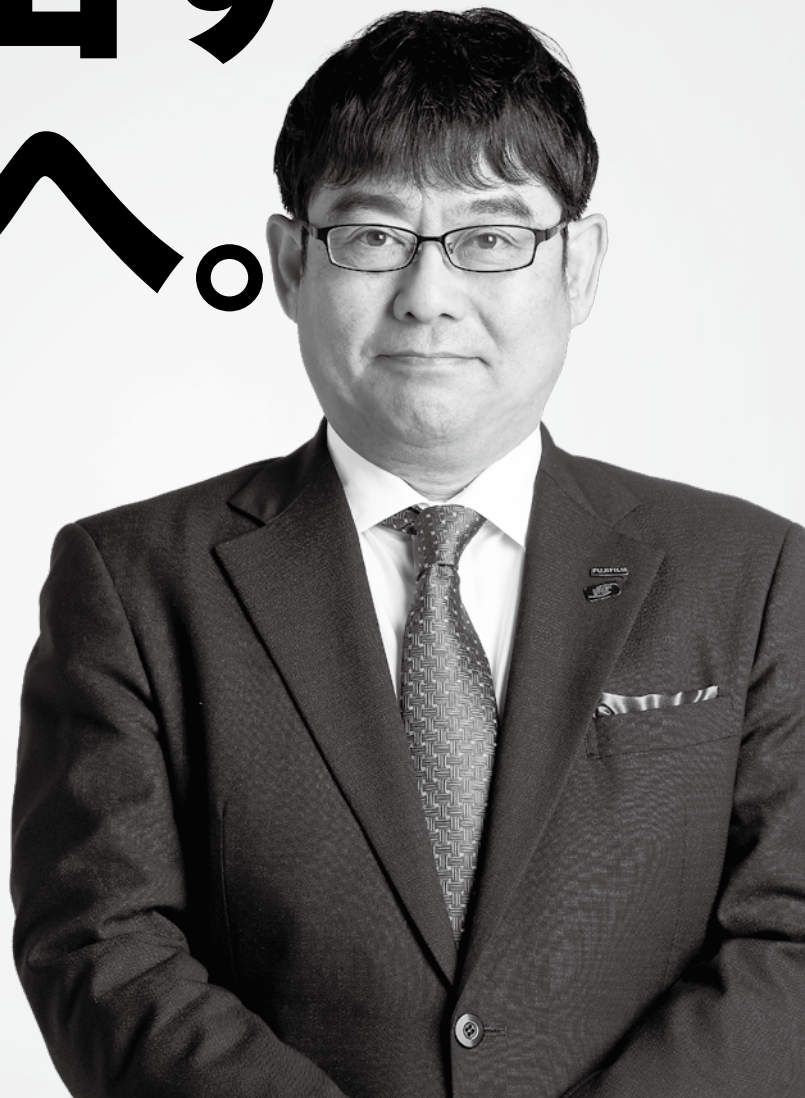
FUJIFILM  
Value from Innovation

# 一緒に答えを 導き出す 会社へ。

新たな印刷ビジネスの可能性を追求し、  
共に前進していくために。  
共に考え、共に模索し、共に答えを導き出していく。  
単にシステムを提供するだけでなく、  
お客さまの課題解決となる  
真に価値のあるソリューションを  
提供し続けていくこと。  
その想いを社名に込めて、  
私たちは新たに生まれ変わりました。  
「富士フイルムグラフィックソリューションズ」。  
新生FFGSでは、デジタル技術を駆使し、  
サポート体制を強化し、一社一社のビジネスに合った  
最適なソリューションを提供していきます。  
新しく生まれ変わったFFGSに、どうぞご期待ください。

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

代表取締役社長 山田 周一郎



システムから、ソリューションへ。

## 新生FFGS、始動。

メッセージ動画はこちら



富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

日本創発グループ  
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

# TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月~金) 9:00~17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic  
http://www.lithmatic.net



# 「事業再構築補助金」のご案内

## 中小企業等事業再構築促進事業

コロナ禍に加えて世界的な物価上昇等の影響で厳しい経営環境にある中小企業に対し、政府は中小企業等事業再構築促進事業を実施しています。

×

現状、新たな事業分野への進出などを支援する事業再構築補助金は、令和2年度3次補正予算で措置された1兆1485億円に加え、令和3年度補正予算で6123億円を積み増ししています。第6回公募からは新たにグリーン分野へ進出する事業者を対象としたグリーン成長枠を設けるなど制度を見直しています。

また、原油価格・物価高騰等の経済環境の変化を受けている事業者に対する支援として、令和4年度予備費で1000億円を積み増し、特別枠（緊急対策枠）の創設や加算措置を行っています。

### 申請要件

- ① コロナ以前と比べて売上が10%以上減少していること
- ② 「新分野展開」や「業態転換」等の事業再構築指針に該当する取り組みであること
- ③ 付加価値額を年率平均3.0%以上増とする計画を認定支援機関と策定すること

### 支援類型

対象	類型	補助上限 <sup>※1</sup>	補助率 <sup>※2</sup>
中小企業 個人事業主等	最低賃金枠	500万円、1000万円、1500万円	3/4
	回復・再生応援枠		3/4
	緊急対策枠	1000万円、2000万円、3000万円、4000万円	3/4 <sup>※3</sup>
	通常枠	2000万円、4000万円、6000万円、8000万円	2/3 <sup>※4</sup>
	大規模賃金引上枠	1億円	2/3 <sup>※4</sup>
	グリーン成長枠	中小1億円。中堅1.5億円	1/2

- ※1 中堅企業も申請可能（補助上限、補助率は異なる）  
 ※2 一部の類型では従業員数により補助上限額が異なる  
 ※3 一定額以上は2/3  
 ※4 6000万円超は1/2

### 対象経費

建物費、建物改修費、設備費、システム購入費、外注費、研修費、技術導入費、広告宣伝費、販売促進費等

※従業員の人件費及び従業員の旅費は補助対象外

※一部の経費については上限等の制限あり



詳細は特設サイトでご案内しています  
<https://jigyousaikouchiku.go.jp/>

### 事業再構築の範囲

事業再構築の主な2つの類型	
新分野展開	新たな製品又はサービスで、新たな市場に進出し、その売上が総売上高の10%以上になること
業態転換	製造方法又は提供方法を相当程度変更し、新たな方法での売上が総売上高の10%以上になること

参考 (株)A社（東京都、従業員数：6名）  
 業態転換（オフセット印刷→ノベルティグッズ製造）

◎オフセット印刷を中心とした紙への商業印刷を主に、印刷物の企画・デザイン、Webサイト制作等を手掛けている印刷会社。

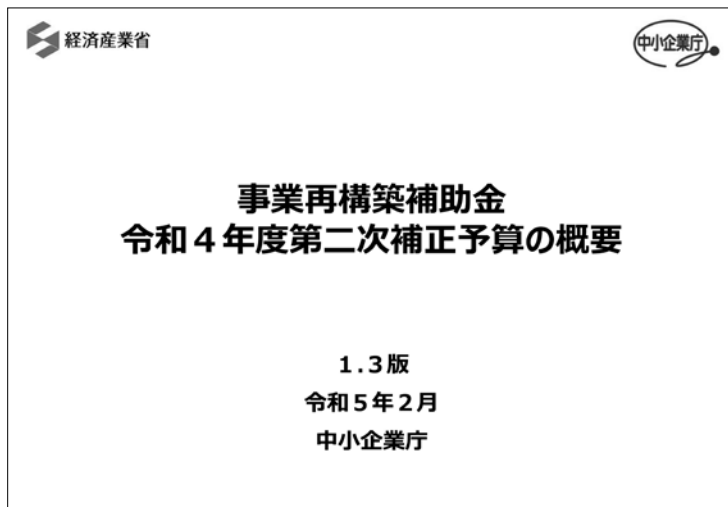
◎印刷物の企画・デザインのノウハウや印刷技術を活かし、販促用のノベルティグッズ等の企画・製造に乗り出す。

◎顧客企業のロゴや顧客名を印刷・彫刻するために設備を導入することで、各種の「オリジナル商品」を製作する。

## 令和4年度第二次補正予算 中小企業等事業再構築促進事業

令和4年度第二次補正予算を受けて、3月下旬から公募開始（3月10日現在）の第10回事業再構築促進事業では、  
 ①物価高騰対策・回復再生応援枠の創設、②成長枠（旧通

下記資料が公式サイトよりダウンロードできます



### 1. 成長枠の創設

見直し

- 成長分野に向けた大胆な事業再構築に取り組む事業者に対する支援。
- 必須要件を見直し、売上高減少要件を撤廃。

必須要件（全枠共通）

A事業計画を認定経営革新等支援機関や金融機関と策定し、一体となって事業再構築に取り組む  
 B補助事業終了後3～5年で付加価値額の年率平均3.0～5.0%（申請枠により異なる）以上増加 又は  
 従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0～5.0%（申請枠により異なる）以上増加

成長枠の対象となる事業者

必須要件（Bについては、付加価値額の年率平均4.0%以上増加を求める。）に加え、以下の要件をいずれも満たすこと  
 ①取り組む事業が、過去～今後のいずれか10年間で、市場規模が10%以上拡大する業種・業態（※）に属していること  
 ②事業終了後3～5年で給与支給総額を年率平均2%以上増加させること

※対象となる業種・業態は、事務局で指定します。（公募開始時に事務局HPで公開予定。）  
 また、指定された業種・業態以外であっても、応募時に要件を満たす業種・業態である旨データを提出し、認められた場合には、対象となり得ます。（過去の公募回で認められた業種・業態については、その後の公募回では指定業種として公表します。）

### 4. 産業構造転換枠の創設

新設

- 国内市場の縮小等の産業構造の変化等により、事業再構築が強く求められる業種・業態の事業者に対し、補助率を引き上げる等により、重点的に支援。
- 対象経費に廃業費を追加し、廃業費がある場合は補助上限額を上乗せする。

産業構造転換枠の対象となる事業者

必須要件（Bについては、付加価値額の年率平均3.0%以上増加を求める。）に加え、以下のいずれかを満たすこと  
 ①過去～今後のいずれか10年間で、市場規模が10%以上縮小する業種・業態に属していること  
 ②地域における基幹大企業が撤退することにより、市町村内総生産の10%以上が失われると見込まれる地域に属しており、当該基幹大企業との直接取引額が売上高の10%以上を占めること

※①については、業界団体が要件を満たすことについて示した場合、その業種・業態を指定業種として指定します。（3月上旬受付開始予定。）  
 又は、コロナ後～今後の10年間で市場規模が10%以上縮小することについて、応募時に客観的な統計等を示していただき、事務局の審査で認められた場合にも対象となります。（過去の公募回で認められた業種・業態については、その後の公募回では指定業種として公表します。）  
 ※②については、要件を満たす地域であることについて、自治体が資料を作成し、証明する必要があります。（3月上旬受付開始予定。）公募開始時に指定された地域を公表します。

従業員規模	補助上限額（※）	補助率
20人以下	2,000万円	【中小企業】2/3 【中堅企業】1/2
21～50人	4,000万円	
51～100人	5,000万円	
101人以上	7,000万円	

※廃業を伴う場合には、廃業費を最大2,000万円上乗せ

常枠）の創設、グリーン成長枠の要件緩和及び上乗せ支援の創設、③産業構造転換枠の創設、④最低賃金枠の継続、⑤サプライチェーン強靱化枠の創設により、中小企業等の新分野展開等を支援します。

申請・詳細は、中小企業庁 事業再構築補助金公式サイトをご確認ください。

### 事業再構築補助金（令和4年度第二次補正予算）の全体像

類型	最低賃金枠	物価高騰対策・回復再生応援枠	産業構造転換枠	成長枠	グリーン成長枠		サプライチェーン強靱化枠
					エントリー	スタンダード	
対象	最低賃金引上げの効果を最大に引き出す事業者 低賃金労働者が多い事業者	業況が厳しい事業者や事業再生に取り組む事業者、製造・物流・サービス等の業種・業態の事業者	国内市場縮小等の傾向が顕著な業種・業態の事業者	成長分野への大胆な事業再構築に取り組む事業者	研究開発・技術開発又は人材育成を行うが、グリーン成長戦略実行計画14分野の課題の解決を目指す取組を行う事業者		海外で製造する部品等の国内調達を進め、国産サプライチェーンの強化及び地域産業の活性化に資する取組を行う事業者
補助上限	最大1,500万円	最大3,000万円	最大7,000万円	最大7,000万円	最大8,000万円（中堅1億円）	1億円（中堅1.5億円）	最大5億円
補助率	3/4	2/3（一部3/4）	2/3	1/2（大規模賃上げ達成で2/3へ引上げ） 【大規模賃上げ要件】 事業終了時点で①給与支給総額+6%以上、 ②事業場内最低賃金+45円			1/2

業況が厳しい事業者向け  
 賃上げ等へのインセンティブ  
 ○大規模賃金引上：上限3,000万円上乗せ  
 ○中小企業等からの卒業：上限を2倍に引上げ

### 1. 成長枠の創設

見直し

- 成長分野に向けた大胆な事業再構築に取り組む事業者に対する支援。
- 必須要件を見直し、売上高減少要件を撤廃。

補助上限額・補助率

従業員規模	補助上限額	補助率
20人以下	2,000万円	
21～50人	4,000万円	【中小企業】1/2（大規模賃上げ※を行う場合2/3） 【中堅企業】1/3（大規模賃上げ※を行う場合1/2）
51～100人	5,000万円	※事業終了時点で、①事業場内最低賃金+45円、②給与支給総額+6%を達成すること。
101人以上	7,000万円	

※事業実施期間中に中小企業から中堅企業へ成長する事業者等に対する上乗せ枠（卒業促進枠）又は継続的な賃金引上げに取り組むとともに従業員を増加させる事業者に対する上乗せ枠（大規模賃金引上促進枠）に同時応募可能

### 6. 業況が厳しい事業者への支援

見直し

- コロナや物価高等により依然として業況が厳しい事業者に対して、支援を継続。
- 第9回公募までの、回復・再生応援枠と緊急対策枠を統合し、新たに「物価高騰対策・回復再生応援枠」として措置。

物価高騰対策・回復再生応援枠の対象となる事業者

<現行（回復・再生応援枠、緊急対策枠）>  
 現行の必須要件に加え、以下を満たすこと  
 (回復再生応援枠) ①2021年10月以降のいずれかの月の売上高が対2020年又は2019年同月比で30%以上減少していること  
 (緊急対策枠) ②再生支援協議会スキーム等に則り再生計画を策定していること  
 ③2022年1月以降の3か月の合計売上高が、2019～2021年と比較して10%以上減少していること

<今後（物価高騰対策・回復再生応援枠）>  
 必須要件（Bについては、付加価値額の年率平均3.0%以上増加を求める。）に加え、以下のいずれかを満たすこと  
 ①2022年1月以降の連続する6か月間のうち、任意の3か月の合計売上高が、2019～2021年と比較して10%以上減少していること  
 ②中小企業活性化協議会等から支援を受け、再生計画等を策定していること

※売上高減少要件については、付加価値額（売上×1.5）減少で代替可能

従業員規模	補助上限額	補助率
5人以下	1,000万円	
6～20人	1,500万円	【中小企業】2/3（従業員数5人以下の場合400万円、従業員数6～20人の場合600万円、従業員数21～50人の場合1800万円、従業員数51人以上の場合は1,200万円までは3/4） 【中堅企業】1/2（従業員数5人以下の場合400万円、従業員数6～20人の場合600万円、従業員数21～50人の場合1800万円、従業員数51人以上の場合は1,200万円までは2/3）
21～50人	2,000万円	
51人以上	3,000万円	



## RICOH BUSINESS BOOSTER

私たちは“仕事を創る”、“仕事を回す”、“仕事が見える”の3つの視点から、印刷事業者のビジネス拡大をさらに支援するための活動『RICOH BUSINESS BOOSTER』を推進しています。

お客様ごとの課題に真摯に向き合い、時には共創活動を通じて新たな価値を生み出しながら、それぞれの解決策を導き出していきます。

印刷事業者の“真”のパートナーとして、前例にとらわれない新たな答えを創りだす。

『RICOH BUSINESS BOOSTER』は私たちリコー日本の新たなビジネスコンセプトです。

## Horizon

Change the focus

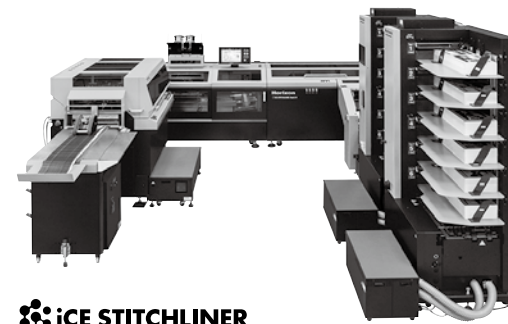
### Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム  
**iCE STITCHLINER Mark IV**

#### 自動化と製本品質の向上を追求

多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



**iCE STITCHLINER**

無線綴じ機  
**BQ-500**

#### 作業効率と製本品質が向上

セット替えの高速化により、小ロットや1冊ずつ厚さが異なるバリエーション製本時にも高い生産性を実現します。また、ホリゾン独自のデリバリー機構により、厚い自身のPUR製本においても背にゆがみのない高精度な仕上がりを実現します。



**iCE BINDER**

紙折機

**AFV-566FKT / AFV-564FKT**

#### 生産性と折り品質が向上

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストップの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



**iCE FOLDER**

三方断裁機  
**HT-300**

#### 高生産性と自動化を追求

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高300サイクル / 時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



**iCE TRIMMER**

[fb.me/Horizon.sns](https://fb.me/Horizon.sns)

#### ホリゾン・ジャパン株式会社 [www.horizon.co.jp](http://www.horizon.co.jp)

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360  
東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083  
京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大数町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025  
福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112  
仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068



**製紙連 2023年紙・板紙内需見通し**  
**グラフィック用紙の低迷により2年連続のマイナス**

印刷資機材の価格が高騰する中、紙・板紙の内需はどのように推移していくのか。日本製紙連合会が1月20日に発表した「2023年紙・板紙内需見通し報告」から紹介します。

×

2023年は、ウィズコロナによる経済活動の正常化、人流及び個人消費の回復、インバウンド需要の回復、ネット通販等のECの拡大、脱プラ・減プラによる紙化の動き、衛生意識の定着などのプラス要因が考えられる一方で、人口減少や少子高齢化、情報・広告分野のデジタル化の加速、省包装・簡易包装化など構造的な要因や世界経済の成長鈍化、生活防衛意識の高まりによる個人消費の失速といったマイナス要因が挙げられます。

紙・板紙の内需は、コロナ禍の影響を受けた2020年に前年比9.5%減と、リーマン・ショック直後の2009年(9.2%減)を上回るマイナス幅を記録。2021年は1.6%増と11年ぶりのプラスとなったものの、コロナ禍前を大きく下回る水準にとどまりました。2022年は、パッケージング用紙や衛生用紙は前年を上回ったものの、グラフィック用紙の不振が響き、紙・板紙計では1.0%減となっています。

2023年は経済活動の正常化で人流及び個人消費の回復が見込まれ、インバウンド需要の伸びも期待できることから、パッケージング用紙や衛生用紙の内需は底堅い動きが見込まれます。一方、情報・広告分野を中心にデジタル化が進展することから、グラフィック用紙の内需は引き続き減少を見込んでいます。

品種別見通しを積み上げると、紙・板紙計で2258万トン、前

年比2.1%減となります。用途別では、グラフィック用紙が7.4%減、パッケージング用紙が0.7%増、衛生用紙が1.0%増と予想。紙・板紙計として、2019年比では11.0%減、過去のピークだった2000年に対しては、7割の水準となります。

四半期別では、各期ともマイナスですが、マイナス幅は1-3月が最も大きくなる見通しです。

グラフィック用紙の内需は、コロナ禍の影響を受けた2020年に前年比16.2%減と大幅なマイナスとなりました。2021年は、塗工印刷用紙はプラスだったものの、他品種の減少により、全体では1.2%減と引き続きマイナスとなっています。2022年は、新聞用紙、非塗工印刷用紙、塗工印刷用紙、情報用紙とも前年を下回り、グラフィック用紙合計では4.8%減となっています。

2023年は新聞用紙、印刷・情報用紙ともに情報・広告分野を中心にデジタル化が加速すること等から、内需は引き続き減少を見込んでいます。

品種別の見通しを積み上げると、グラフィック用紙合計で740万トン、前年比7.4%減となります。新聞用紙が8.0%減、非塗工印刷用紙が8.0%減、塗工印刷用紙が8.0%減、情報用紙が5.0%減と予想。グラフィック用紙合計としては、17年連続の減少を見込んでいます。また、2019年比では26.9%減、過去のピークだった2006年に対しては、5割弱の水準となります。

四半期別では、各期ともマイナス予想となります。

より詳細に見ていくと、情報用紙の内需は、2019年までは比較的堅調に推移してきましたが、2020年は前年比10.9%減となり、2021年に減少幅は縮小したものの2.2%減、2022年は1.5%減と引き続きマイナスとなりました。主力のPPC用紙が、コロナ禍によるデジタル化の進展、在宅勤務拡大等の影響を受け、マイナスで推移。一方、感熱紙原紙は底堅い動きを示しました。

品種別にみると、PPC用紙は在宅勤務制度やWeb会議の定着に加えて、企業や個人のコストダウン強化により、使用量削減が加速すると見られることから減少。フォーム用紙は、DM向けは需要の広がりが期待できるものの、全体としては、デジタル化の進展により減少。複写原紙は、ペーパーレス化等により減少。一方、感熱紙原紙は、人流回復・インバウンド増により、レシート用途等で回復が期待されるほか、通販向け配送ラベル用途の増加等により、需要は引き続き底堅く推移すると予想します。

以上を勘案し、情報用紙の内需は前年比5.0%減を見込んでいます。2019年比では18.4%減、過去のピークだった2008年に対しては、7割強の水準となります。四半期別では、各期ともマイナス予想。マイナス幅は4-6月、10-12月に拡大する見通しです。

**資材高騰・エネルギーコスト上昇が直撃**  
**2022年の価格推移を振り返る**

印刷情報用紙の値上げ、電気代といったエネルギーコストの上昇が経営を圧迫しています。新年度の本格的なスタートに際し、2022年度の紙の値上げや電気代の上昇等の推移をまとめました。

×

■ 印刷・情報用紙

【2022年7月-8月】

王子製紙	7月1日	出荷分より、15%以上
三菱製紙	7月21日	出荷分より、15%以上
日本製紙	8月1日	出荷分より、15%以上
北越パルプ	8月1日	出荷分より、15%以上
中越パルプ	8月1日	出荷分より、15%以上
大王製紙	8月22日	出荷分より、15%以上

【2022年12月-2月】

王子製紙	12月1日	出荷分より、15%以上
三菱製紙	12月1日	出荷分より、15%以上
北越パルプ	2023年1月21日	出荷分より、15%以上
中越パルプ	2023年1月21日	出荷分より、15%以上
大王製紙	2023年1月23日	出荷分より、15%以上
日本製紙	2023年2月1日	出荷分より、15%～25%

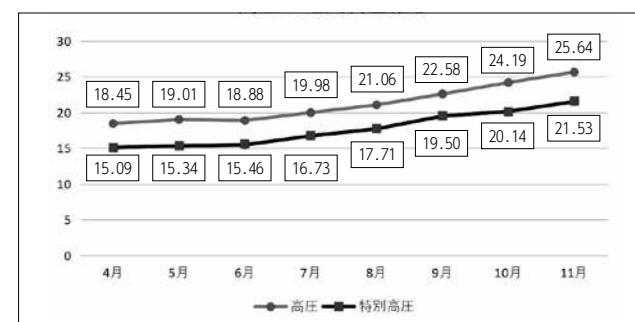
■ オフセットインキ(油性枚葉インキ)

東洋インキ	4月1日	出荷分より、60円/kg以上
T&K TOKA	5月1日	出荷分より、50円/kg以上
DIC	6月1日	出荷分より、60円/kg以上
サカタインクス	6月1日	出荷分より、60円/kg以上
大日精化工業	6月1日	出荷分より、60円/kg以上
東京インキ	6月1日	出荷分より、60円/kg以上
女神インキ	9月1日	出荷分より、60円/kg以上

※今月からの価格改定

DIC	2023年4月1日	出荷分より、10%
東洋インキ	2023年4月1日	出荷分より、150円/kg以上
大日精化工業	2023年4月1日	出荷分より、15%
東京インキ	2023年4月1日	出荷分より、120円/kg以上

高圧の電気料金推移(単位:円/Kwh)



出典：(一社)エネルギー情報センター 新電力ネット <https://pps-net.org/>

**電通 2022年日本の広告費**  
**総広告費が過去最高の7兆1021億円に**  
**ネット広告が3兆円超えで下支え**

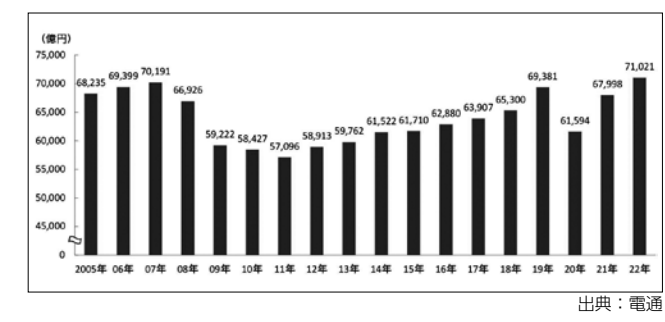
電通がこのほど発表した「2022年日本の広告費」によると、2022年1月から12月までの日本の総広告費は、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大、ウクライナ情勢、物価高騰など国内外の様々な影響を受けつつも、社会のデジタル化を背景に好調なインターネット広告費の成長が市場全体を支え、通年で7兆1021億円(前年比104.4%)となった。これはコロナ禍前の2019年を超え、1947年に推定を開始して以降、過去最高となった。上半期は、コロナ禍からの回復に伴う行動制限の緩和や、北京2022冬季オリンピック・パラリンピックなどにより好調だった。下半期は、ウクライナ情勢や欧米の金融政策の転換による経済環境の大きな変化、新型コロナの再拡大などの影響を受けたものの、社会・経済活動の緩やかな回復に伴い「外食・各種サービス」「交通・レジャー」を中心に広告需要が高まった。特に、社会のデジタル化を背景に、好調なインターネット広告費によって広告市場全体が成長した。

「日本の広告費」は、①マスコミ4媒体広告費、②インターネット広告費、③プロモーション広告費の3つに分類される。

マスコミ4媒体は2兆3985億円(前年比97.7%)と減少している。一方、インターネット広告費は、3兆912億円(同114.3%)と総広告費における構成比が43.5%と2兆円を超えた2019年から3年で1兆円増加した。内訳を見ると、インターネット広告媒体費が2兆4801億円(同115.0%)、インターネット広告制作費は、動画広告市場の拡大や運用型広告における広告制作数の増加などにより、4203億円(同109.2%)と増加した。また、物販系ECプラットフォーム広告費も引き続きの在宅需要の高まりに伴い、1908億円(同117.0%)と増加した。

プロモーションメディア広告費は、コロナ禍からの回復に伴い行動制限の緩和や国や自治体による全国旅行支援施策の実施などもあり、各種イベントや従来型の広告販促キャンペーンが再開したものの、通年では減少した。一方で、人流が戻ったことで「屋外広告」「交通広告」「折込広告」など前年を上回る媒体もあった。

日本の総広告費の推移



出典：電通

出典：日本製紙連合会 <https://www.jpa.gr.jp/docs/release/index.php>





# SHOWA

## ユーザーサポート こそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の「昭和謄写堂」として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

### 21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ ユーザー会で密に情報交換

**SHOWA会**

- 年間活動
- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
  - 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで  
**SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149**



株式会社

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149



# Morisawa Fonts

文字とつながる。世界がひろがる。



フォントの  
新しいサブスクリプションサービス  
豊富な書体ライブラリー / 複数デバイスでの利用 / 簡単なフォントインストール

[morisawafonts.com](http://morisawafonts.com)



**モリサワ**



# みちしるべ ジャグラの道標「業界理念」とは？

今、改めて先人からの“贈り物”を読み直してみる

本誌冒頭の本村委員長の挨拶のとおり、広報委員会では本誌の発行趣意書策定に当たって、ジャグラの「業界理念」を読み返し、そこに書かれているジャグラの実在意義や会員の行動姿勢について、先人たちの熱い想いと先見性に感心したところで、[業界理念]についてはダイジェスト的な文章が毎年お届けしている「会員名簿」に掲載されていますが、解説を加えつつここに改めて紹介いたします。

×

## 策定の経緯

「軽印刷」という名称を「グラフィックサービス」に変更した事業を「業界CI」と呼んでいます。88年、岩手・東北地協総会において、石野昭夫会長（当時、14代会長）は、「軽印刷の“軽”という字の印象で、何かとお客様から差別される。“軽”を取りたいと思うのが会長はどう考えているか？」と会員から質問されたのがきっかけとされていますが、実はそれ以前の総会でも突っ込んだ議論がされた「古くて新しいテーマ」でありました。「一般印刷（活版）に追いつき追い越せ」を目標に進んできた我が業界ですが、「もう“軽”じゃなくなつたら」という気持ちの沸騰が東北での質問につながったわけです。

帰京した石野会長は、「“軽”を取って名称だけ変えても実態が変わらなければ意味はない。けれども会員を巻き込んで業界の将来を見据えた活動ができれば皆のプラスになるだろう。推進には強力なリーダーシップが必要だ」と考え、先輩の谷口一郎さん（10代会長）に相談したのです。親分肌の谷口さんは「お前の頼みだったら何でも聞いてやるよ」と即答。89年の東京総会において「軽印刷の名称変更も含めた業界のイメージアップ事業」が承認され、谷口さんを委員長とした「日軽印刷CI委員会」による「業界CI」事業がスタートすることになりました。

当時は好景気による人手不足が深刻で、CIに代表されるイメージアップ活動が花盛りでしたし、2次産業である製造業もソフト・サービス化で武装した2.5次産業を目指そうという社会環境も追い風となりました。

委員会は90年に、多くのCIを手がけていたパナデコン研究所・堀田一牛さんをコンサルタントとして迎え入れます。堀田さんは「重要なのはヒト・モノ・環境・情報など業界の日常行動の核になっているもの、つまり“業界理念”が明確になって

いる必要がある」と説き、全会員アンケートや全国10か所でのビデオヒアリングキャラバンを実施。これらの活動の結果をまとめた「業界理念」が92年のCI委員会承認され、これを基に「日本グラフィックサービス工業会」を含む新名称8案を創出。委員総出で全国各地に出向き、丁寧に説明会を開催するなどの活動を行い、93年の福井総会で新名称が承認されることになったのです。

## 30年経っても色褪せない先人たちの想い

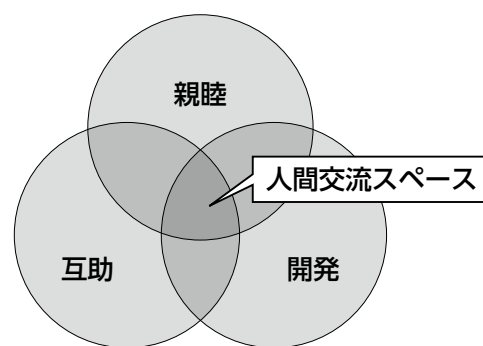
以上のような経緯で定められた「業界理念」は、①工業会の存在意義、②業界の社会的使命、③業界の事業領域、④工業会の運営姿勢、⑤会員の行動姿勢——の5つから成るもので、30年近く経った今でも、色褪せることなく、私たちの指針となるものです。

### ①工業会の存在意義

工業会は何のために存在しているのか

#### 人間交流スペース

工業会は、会員が自社の経営の質的向上に役立つ、知恵と勇氣と技術を分かち合う人間交流スペースです。



■人間交流スペース=日々さまざまな局面で、最後には一人で決断を下さなければならないのが経営者というものです。しかし、同じ道を歩みながら同様な「悩み」の中にいる人々と知り合えたら、これ以上の心強い味方はありません。そして、同じ課題を持つ業者同士が親交を深め助け合っていく——今まで工業会はこうして続いてきました。さらに我が業界の現在と将来のために、その中から新しい経営力を開発していく機能を工業会に持たせたいと考えます。会員がより个性的で元気な企業としてステップアップするために、親睦と互助と開発を目的とした人間交流を果たす広場。これこそ私たちの工業会の存在意義です。

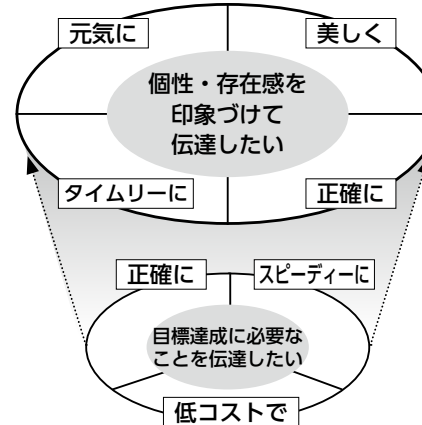
### ②業界の社会的使命

社会に対し業界は何でお役にたてるのか

#### ファイン・コミュニケーション

私たちは、社会の多様な要請にタイムリーに対応し、人々が望むファイン・コミュニケーションを支援します。

#### 【ファイン・コミュニケーション】



#### 【グッド・コミュニケーション】

■ファイン・コミュニケーション=スピーディーに、正確に、低コストで自分の意志を伝えたい——そのための伝達・保存について、私たちは軽便な文字印刷技術で応えてきました。そして、今後、人々のコミュニケーション・ニーズはますます高度化していきます。個人や組織の個性・存在感(アイデンティティ)を多彩に印象づけながら、より美しく、正確でタイムリーに、元気に情報や意志を伝えたい。私たちはこうした人々の社会的活動を、印刷という分野で支援したいと考えます。

### ③業界の事業領域

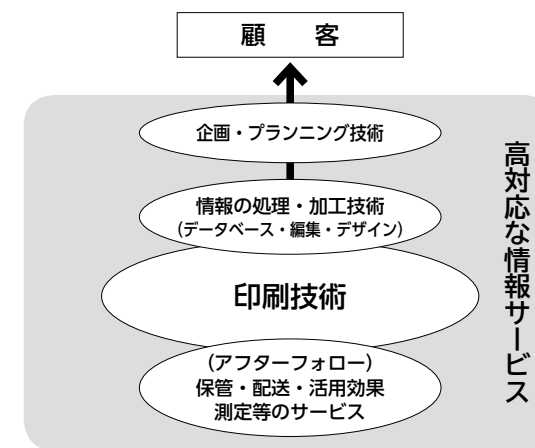
業界はどんな技術・商品・サービスで事業を営み、社会使命を果たそうとするのか、その存在意義を全うしようとするのか

#### 高対応な情報サービス

私たちは顧客の満足を実現するために印刷の技術を核として、情報の処理・加工力と企画・デザイン力を開発し、より高対応な情報サービスを提供します。

■高対応な情報サービス=私たちは、顧客一人一人に密着した、何よりもコンビニエントな対応と意欲的な技術革新性で業績を伸ばしてきたという歴史があります。今後もこの対応力を不変のスピリットとして、さらに新しい技術革新とサービス体制の開発に挑戦していかなければなりません。現在、顧客の要求はより高度になっています。それに対して、私たちは熟練したプロの目で要望をつかみ、最良の方法でそれを実現するための提案をすることが求められています。そのテーマとして、①企画

顧客



プランニング技術の開発、②情報処理・加工と、そのソフト開発(データベース・編集・デザイン)、③印刷技術の高度化、④アフターフォローの体制構築、などが挙げられます。

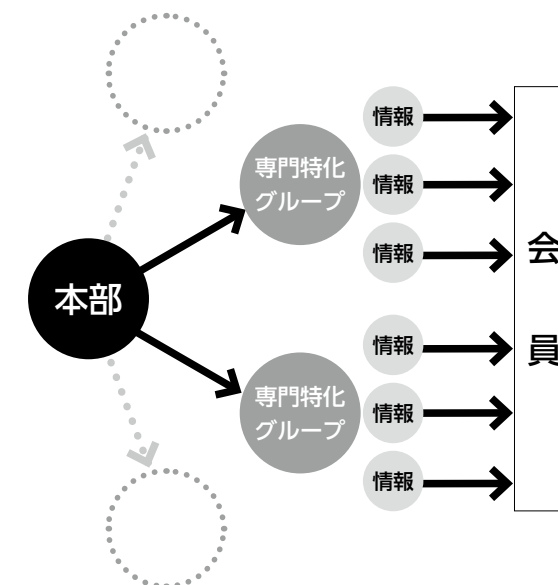
### ④工業会の運営姿勢

工業会はどんな姿勢で運営されるべきか

#### 情報ターミナル

工業会は共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに、小さいことが有利となる経営施策も発信する情報ターミナルです。

■情報ターミナル=個性化・高品質化を目指す上で「小さいこと」も有利になる時代が来ました。専門特化を進めながら、一方で多様なニーズに応えられる間口の広さ——この2つの方向を会員は指向し始めています。その経営課題に応えられる情報発信機能こそ、工業会に求められる能力です。そのために共通・類似の問題意識を持つ企業同士を、地域を越えてネットワークングすることで、全会員に役立つ経営・技術上の高度な情報の蓄積が可能になります。ネットワーク機能、高度な情報蓄積機能、情報の受発信機能こそ、情報ターミナルとしての工業会の運営姿勢です。





## 年賀状デザインコンテスト募集開始!

締切 6.17 詳細は本誌同封のリーフレット・特設サイトをご覧ください

ジャグラは今年も 2024 年辰年向けの年賀状デザインコンテストを実施します。応募締切りは 6 月 17 日(土)です。皆様奮ってご応募ください。

×

### 「ご当地デザイン賞」を新設

- ◎今回は「カラー部門」「モノクロ部門」「学生部門」「ご当地デザイン賞」の募集となります。「喪中案内部門」の募集はありませんのでご注意ください。
- ◎「ご当地デザイン賞」は、各地のご当地自慢や代表するイメージでデザインされたものを募集します。4 部門で賞金総額は 70 万円(表彰 100 点)。選出した◎優秀作品は見本帳に掲載され、ジャグラ会員企業の年賀状ビジネスに活用していただけます。

### ■表彰点数と賞金

①会長賞	カラー部門	1 点 (5 万円)
	モノクロ部門	1 点 (5 万円)
	学生部門	1 点 (3 万円)
②ご当地デザイン賞		10 点 (5 千円)
③協賛企業賞		10 点 (1 万円)
④優秀賞		7 点 (1 万円)
⑤作品賞		70 点 (5 千円)



詳細は本誌同封のリーフレット・ポスターをご覧ください

### ■実施スケジュール

- ①募集期間 4 月 3 日(月)～6 月 17 日(土)
- ②発表 7 月 20 日(木) 優秀作品ダウンロード開始 8 月 22 日(火)
- ③表彰式 11 月 10 日(金) 全国協議会席上にて

下記コンテスト特設サイトで最新情報をご案内しています

応募作品もこちらからのアップロードになります

<https://www.jagra.or.jp/nenga2024/>

ように進んでいくかを紹介します。

昨年の全国協議会、IGAS2022 ジャグラブース、そして JP2023 と段階を経て、ジャグラコンパクト DX 事業の進捗をご確認いただければと思います。会場にはジャグラコンパクト DX 事業の生産性向上委員会、MIS 研究委員会、地域活性化委員会、業態進化委員会の各委員が待機しています。高知大会の発表を前に、誌面のみでしか見聞きされていない近畿、中国、四国、九州の会員の皆様には直接ご意見、ご質問等をいただければと思います。

### <開催概要>

- 会 期 2023 年 5 月 18 日(木)、19 日(金) 18 日 午前 10 時～午後 5 時 19 日 午前 9 時 30 分～午後 4 時
- 会 場 インテックス大阪 5 号館 (大阪市住之江区南港北 1-5-102)
- 主 催 JP 産業展協会
- 後 援 大阪府、大阪市、大阪商工会議所、大阪府中小企業団体中央会、全日本印刷工業組合連合会、日本製紙連合会、日本洋紙板紙卸商業組合、(公社)日本グラフィックデザイナー協会(以上予定)
- 協 力 (公社)日本印刷技術協会、大阪印刷関連団体協議会、大阪府ものづくり振興協会、販促アイデア協議会(以上予定)

### 5.18・19 JP2023 展 インテックス大阪で開催! ジャグラも出展、DX 事業の中間報告

JP 産業展協会(作道孝行会長)が主催する「JP2023 印刷 DX 展」が 5 月 18・19 日の 2 日間、大阪市住之江区のインテックス大阪 5 号館で開催されます。「印刷 DX 展」と名称変更して 3 回目となる今回は「ニューテクノロジーが奏でる印刷産業の新たな未来」をテーマに、出展各社がブースを展開します。

JP2023 にはジャグラも出展します。現在、ジャグラではジャグラコンパクト DX 事業を推進していますが、印刷 DX 展と銘打つ JP 展に合わせて、6 月のジャグラ文化典高知大会を先取りして、ジャグラコンパクト DX 事業の活動経過報告ならびに、広報委員会によるジャグラ広報の一環を垣間見ることができます。

ジャグラブースは、今回の JP 展の目玉でもある、ホリゾン・ジャパン、印刷革新会、リコージャパン、J SPIRITS のブースに隣接し、最先端の自動化、DX 化の中でジャグラの DX がどの

私たちは次の 5 つの行動姿勢を守りながら工業会の活動に参加します。

いくつかの大きな試練を乗り越えてきた私たちの業界が、さらにこれからも発展していくためには、会員一人一人の中にある共通の価値観を共有しておくことも必要です。ここでは最も基本的な価値観を行動姿勢として 5 つ挙げ、和気あいあい、風通しのよい業界団体を目指していきたいと思います。



### ⑤会員の行動姿勢

工業会に参加する会員の、最も大事にすべき行動原則とは何か

①私たちは、時代を学び、鋭く対応します

②私たちは、自社の個性化を推進します

④私たちは、顧客と社員の満足を経営の基本とします

③私たちは、自分を語り、他人を聞きます

⑤私たちは、仕事を通じて地域文化に貢献します

【エピソード】 業界理念策定に至る実質的な作業は 6 名の委員から成るワーキンググループに委ねられましたが、その中のお一人は現・岡本泰会長のお父様(健紀さん、17 代会長)のご兄弟である岡本戡紘さんでした。また、業界理念策定の後、創出された新名称案は 100 を優に超えますが、「グラフィックサービス」という名称案は 92 年 5 月に伊豆で開催された SPACE-21 全国代表者会議において、愛知の方より発案されたものであり、これを含む 6 つの名称案が同年 9 月の愛知総会で披露されたのです(名称案はその後 2 案追加)。翌 93 年の福井大会で新名称を「日本グラフィックサービス工業会」とすることが決議され、94 年 10 月に通産省より正式に認可されました。「業界 CI」は、件の東北地協総会から数えて足掛け 7 年に渡る大事業でした。なお、現シンボルマークは清水建設や日野自動車のロゴを制作した大御所デザイナー・飯守格太郎さんの手になるもので、「ジャグラ」という略称を提案したのも飯守さんです。インターネット出現後、印刷業界を取り巻くメディア環境は激変しましたが、業界理念は 30 年の時を経ても色褪せることなく今もなお私たちの道標として機能しています。

(文: 広報委員・藤尾泰一/当時・CI 事業の本部担当職員)



## 雑学コラム④ 野口聡の

### 47 都道府県のお話(その 3: 千葉県)

皆様こん〇〇は。ジャグラ東京・文京支部の(株)アクティブ・野口です。今回のコラムのテーマは千葉県です。理由は私が住んでいるから(笑)。

最初に「千葉県の観光地」と聞いて皆様はどんな施設が浮かぶでしょうか? まあ、大多数がディズニーリゾート、頑張っ東京ドイツ村、詳しい方なら船橋アンデルセン公園辺りになりますか。でも千葉市民(特に我が家)にとっての遊び先となると、真っ先に上がるのが「千葉市動物公園」になります。なので今回は名前しか聞いたことの無いであろうこの動物園のお話でもしようかと……。

さて、「千葉市動物公園」と聞いて「知っている」と答えた市民以外の方は、相当の動物好きか動物園マニアでしょう。でもこの施設は知らなくてもここで飼育されている「とある動物」は、一時期テレビやメディアで話題になったので大抵の方は 1 度は観たことがあるかと思います。その動物、何でしょう? 漢字では「小熊猫」と書くあの動物ですよ。そう、2005 年に「両

足で立つレッサーパンダ」として話題になった「風太くん」が居るのがこの動物園なのです。

その風太くん、人間の年齢に換算すると 100 歳を越えた現在も元気にしております。まあびっくり! その他に珍しい動物として「動かない鳥」として知られる(?) ハシビロコウさんや国内でも珍しいお猿さんに特化したゾーンがあり運が良いとテナガザルが枝から枝へ移動するシーンを目の前で見ることがも。熱帯雨林を模した室内施設もありオニオオハシやナマケモノなどがお出迎えしてくれます。

場所は JR 千葉駅や千葉みなと駅から千葉都市モノレールを利用し、「動物公園駅」で下車すると直結で行くことができます。更にある意味一番の魅力として中学生以下は入場料無料。小さいお子さんがいらっしゃる方にはお財布にも優しい(笑)。しかもモノレール自体が乗る機会がめったにない「懸垂式」の仕様なので、来るだけでも貴重な体験になるんじゃないかなと思います。もはやただの観光案内ですが、ここまで読んで興味湧いた皆様、是非とも足を運んでみては如何でしょうか!

### 【今月のお題】

では来月の県の問題です。問題: 高校野球の甲子園大会になぞらえて日本各地で「〇〇甲子園」という大会が行われています。「俳句甲子園」は愛媛県、「写真甲子園」は北海道で開催されていますが、1992 年からスタートした「まんが甲子園」が開催されているのはどこの都道府県でしょうか?

(正解は 29 ページ)



# 業界の動き

## ジャグラ

### 「営業戦略とDXの活用」のセミナー開催 既存重視とウェブ活用を強調 宮城県支部

ジャグラ宮城県支部（大橋邦弘支部長）は2月13日、仙台市の宮城県印刷会館で、コニカミノルタジャパン㈱の白井杏奈氏を講師に迎え、「営業戦略とDXの活用」をテーマに支部セミナーを開催しました。

×

セミナーでは、今までの対顧客営業戦略を効率化し顧客のためにできることを深化させ売上と利益を倍増すること、そのためにはビジネスツール（DX）の活用が必須になると講師の白井氏が指摘。その上で下記2つのポイントを説明しました。

#### ①新規開拓より既存重視でいこう！

新規客から仕事を獲得する労力を5とすると既存客から新規の仕事を獲得する労力は1といわれています。新規に労力を使うよりすでに信用が構築されている既存客の深掘りを考えよう。

#### ②自社ウェブサイトの活用

自社ウェブサイトを作った目的は何ですか？もし顧客獲得を目的としているなら、顧客が欲しそうな資料ページを作ってみる。その資料をダウンロードしたアドレスはビジネスツール（DX）を使えば瞬時に分かるから、ころ合いを見て『資料請求はいかがですか？』メールを出してみる。

最後に白井氏は「営業マン向けのセミナーを担当するのが決まった際、志願して営業兼任にしてもらって自らテレポや飛び込みをして現在も獲得客フォローと新規開拓中です」と自らも実践していることを強調しました。



左) 司会を務めた柿沼さん  
下) 講演する白井氏



## 賛助会員

### 子会社を吸収合併 富士フィルムグラフィックソリューションズに社名変更 FFGS

富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ㈱（略称FFGS）は4月1日付で子会社の富士フィルムGSテクノ㈱を吸収合併し、社名を富士フィルムグラフィックソリューションズに変更しました。略称FFGSは変わりません。

×

富士フィルムグローバルグラフィックシステムズが富士フィルムGSテクノの権利義務の一切を継承して存続会社となり、富士フィルムGSテクノは解散します。これに伴い、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズは4月1日付で、社名を富士フィルムグラフィックソリューションズ㈱に変更しました。新社名は、富士フィルムグループの「事業活動を通じて社会課題の解決を目指す」という企業姿勢を体現すべく、印刷業に携わる顧客の課題解決ソリューションを提供し続ける会社でありたいという想いを表しているとのこと。

(10ページの同社広告もご覧ください)

## 短 信

### 凸版印刷が持株会社制に移行で商号変更 印刷なくし「TOPPAN」に

凸版印刷㈱は、今年10月に予定している持株会社体制への移行にあたり、持株会社の商号を「TOPPANホールディングス㈱」とし、凸版印刷の事業を継承する事業会社の商号を「TOPPAN㈱」「TOPPANデジタル㈱」にそれぞれ決定しました。

×

新商号は、凸版（トッパン）の名称は継承しつつ、グローバル企業として全世界で統一したブランドとして使用していくことを意図し、英字で「TOPPAN」と表記しています。

また、「Digital & Sustainable Transformation」をキーコンセプトに、社会や顧客、トッパングループのビジネスを、デジタルを起点として変革させる「DX (Digital Transformation)」と、事業を通じた社会的課題の解決とともに持続可能性を重視した経営を目指す「SX (Sustainable Transformation)」によって、ワールドワイドで社会課題を解決し、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指しており、今後さらなる事業ポートフォリオ変革を推進していく意思を込めて、既存の事業領域を規定する「印刷」を含めない商号としています。

## 業界の動き

### ジャグラ

### 2.11 金沢で全国交流キャラバン in 北陸を開催 全国からメンバー30名が参加

SPACE-21

ジャグラ青年部 SPACE-21（笹井靖夫代表幹事）は2月11日、全国交流キャラバン in 北陸を石川県金沢市のホテルマイステイズ金沢キャッスルで開催しました。

×

当日は講演会が行われ、石川県で飲食店をはじめ数々の事業を展開する㈱All Dash Restaurant Systems 代表取締役・浦崇典氏を講師にお招きし、「コロナ禍においても躍進する秘密を知る～打つ手は無限～」というテーマでお話しいただきました。

浦氏は冒頭に人と人がつながること、懇親会の重要性について語られました。コロナ禍で大人数の席は無くし座席を減らす飲食店も多い中、「いつか懇親会が帰ってくる」と

いう思いから店内のレイアウトを変更しなかったと言います。ただ、変わらないものだけではなく、以前のどんぶり勘定を見直し、SNSの活用や、インフルエンサーマーケティングを行うなど、時代の変化に合わせたマーケティングを実施。ターゲット層を明確にして行った施策により集客に成功した事例を紹介していただきました。

講演会終了後は懇親会を開催。浦氏にもご参加いただき、名刺交換や質問に対応していただきました。SPACE-21新潟が主催するビンゴ大会も開催。豪華賞品（主にお酒）で大いに盛り上がりました。コロナ禍の影響により、画面越しで話すことが多い中、フェイス to フェイスの重要性を身をもって再認識できた大変楽しいひとときとなりました。

(報告：本部事務局・長野未奈美)



コロナ禍の下での事業展開のコツをお話いただいた講師の浦氏（左）と熱心に耳を傾ける参加者の皆さん（右）



SPACE-21 新潟企画のビンゴ大会で盛り上がる皆さん 写真中左は SPACE-21 笹井代表幹事



SPACE-21 全国交流キャラバン in 北陸 参加者の皆さん



# ジャグラコンパクト DX 業態進化のすすめ～新技術を取り込み強い会社になろう～

## 【第三回】 ドローン事業の展開と印刷創注 秋田・(株)くまがい印刷さんの事例



導入難度：梅

ジャグラ秋田県支部の(株)くまがい印刷・専務の熊谷健司です。本稿では弊社が従来の印刷に加えて取り組んでいるドローンを活用した事業についてご紹介します。

×

### はじめに

ドローン業界は近年急速に成長しており、空撮や物流、点検調査分野など、多くの分野で利用されています。このようなドローンの利用拡大は今後も続くことが予想されます。下図は日本国内における市場予測です。ドローンを活用したサービス（仕事）を表していますが、サービス市場規模が右肩上がりです。

まずは空撮分野について考えてみましょう。これまで航空写真はヘリコプターや小型飛行機を使って撮影されてきましたが、ドローンの出現によって、より安価で正確な空撮が可能になりました。特に不動産業界では物件の外観や周辺環境を効果的にアピールするために、ドローンを積極的に利用するようになってきました。観光業界などでもドローンによる空撮が注目されています。

また、ドローンは物流分野でも利用が期待されています。配送用のドローンが登場することで最短距離での配達が可能になり、物流の効率化が進むことが期待されます。特に



日本国内ドローン活用サービスの市場規模推移と予測  
(インプレス総合研究所ドローンビジネス調査報告書より作成)

山間部や離島など、従来の配送手段に限られる地域において、ドローンは重要な役割を果たすことができるでしょう。ドローンは点検調査、測量分野でも利用されています。例えば電力会社はドローンを使って送電線や電波塔などの点検を行っています。ドローンは高所にも容易にアクセスできるため、従来の点検手法に比べて安全で効率的に点検を行うことができます。今後も建設業界を中心にドローンによる測量や点検が一般的になることが予想されます。

### 弊社のドローンの取り組み

弊社は一般商業印刷会社として創業69年を迎える老舗です。謄写版から孔版、オフセットへ時代の変遷とともに生産体制を構築してきました。また、Web制作や印刷通販事業等、IT活用の業態変革も精力的に行っております。

近年ではドローンの機体販売、空撮受託、電力インフラ点検、操作講習実施、イベント運営まで幅広く取り組んでおり、空撮の業務では建物外観空撮やイベント空撮、電力インフラや太陽光パネルの点検業務、ドローンスクールへの講師派遣なども行っており、またイベント関連では、サッカーJリーグでのセレモニーとして史上初となるドローンを使用したボールトスやドローンを使ったクレーンゲームなども行っています。



左) 赤外線センサーで太陽光パネルを点検 不良部分が一目でわかる  
右) Jリーグ公式戦でドローンボールトスを行った

### 印刷屋×ドローン=印刷創注

近年ドローンをを用いた業務が多くなってきており、私た



弊社によるドローン空撮例 左から「由利原高原」「横手城」「秋田市」「寒風山」

ち印刷業界でも活用が広がっています。ドローンをを用いた空撮により、企業外観をはじめとした景観PRや景勝地などの素材使用など、印刷業界においてもその需要が高まっています。

また、ドローンを使った業務はクライアントとの関係性を向上させる効果も期待できます。ドローンはコミュニケーションツールとしても活躍し、クライアントとの信頼関係を構築することができます。さらに、発注担当者が印刷物の発注も手掛けることが多いため、印刷受注の増加というシナジー効果が期待できます。

当社での2022年度ドローン事業の売上は前年対比155%増、派生した印刷物売上は前年対比145%増でした。当社ではドローン事業を新規開拓ツールとしても位置付けており、ドローンを活用して新しいビジネスが広がっています。

### ドローン飛行のルール

日本の航空法において重量100g以上のドローンは「小型無人航空機」と呼ばれ規制が設けられています。以下に主な航空法のポイントを説明します。

#### ①飛行制限区域

人口密集地や空港や政府機関の施設など一定の制限区域ではドローンの飛行が禁止されています。また、一般的な都市部でも公園や学校の上空など人や物の安全を考慮して制限が設けられている場合があります。

#### ②第三者との距離の確保

第三者となる人や物との距離を30m以上確保することでドローンを飛行させることができます。

#### ③飛行時間帯

原則として日の出から日没までの間に限りドローンの飛行が認められています。

#### ④最大飛行高度

ドローンの最大飛行高度は、地上から150m以内となります。



国土交通省のドローン情報サイト DIPS  
<https://www.ossportal.dips.mlit.go.jp/portal/top/>  
飛行の電子申請などもここから行える

### ⑤飛行距離

ドローンの飛行距離は機体が目視できる範囲内に限られます。

### ◎飛行許可の取得

日本国内では、ドローンを使用する際に特定の場所での飛行には別途許可を取得する必要があります。上記①～⑤は禁止行為となりますが、一部を除き国土交通省航空局から許可を取ることで飛行ができるようになります。これらの許可の取得には自身でも容易に許可申請が可能で、電子申請システムDIPS2.0(上図)を使うことで費用をかけずに行うことができます。

### ドローン事業を始めるまでのコスト

以下は例えば空撮を始めるまでのコストの目安です。機材は日本国内でもシェアトップのDJI社製ドローンを選択した場合として考えてみます。ドローン本体の価格はモデルによって異なりますが6万円程度からハイクラスでは50万円程度になります。カメラやコントローラーが付属するものが多いのが特徴です。その他バッテリーやプロペラ、記録媒体となるマイクロSDや撮影したデータを保管するハードディスクやクラウドサーバー費用はそれぞれ





DJI社のドローン Mavic 2 Pro

数千円から数万円になります。

また、ドローンを使用する場合、事故やトラブルが発生する可能性もあるため、ドローン保険に加入することは必須です。保険料は使用する機材や保険内容によって異なりますが年間数千円～数万円程度です。

これらに加えて撮影に伴う交通費やスタッフの給与、動画編集費用などが必要になる場合もあります。

動画編集については私たちにもなじみが深い Adobe 社の Premiere Pro や Wondershare 社 filmora が月額 2000 円程度で PC にインストールでき、動画編集を始めることができるのでおすすめです。

### 踏み出す一歩～ジャグラメンバーとともに～

ジャグラコンパクト DX 業態進化委員会では、今年度ジャグラドローンチャレンジミーティングと題して、ドローンに取り組みたい会員に向けた、事業化のバックアップを行うイベントを開催することになりました。これはすでに事業を行っているジャグラ会員数社と参加希望者が情報交換を行うことを目的として行います。Zoom を用いて行いますのでなたでも参加しやすく、遠方からでも参加可能です。参加者同士が双方向で情報交換を行い、知見を広め、個々の事業開始の可能性を探求することができます。ドローンを使ったビジネスに興味のある方や、すでに事業を

行っている方にとって、大変貴重な機会となります。ぜひ参加して、自身のビジネスの可能性を広げてみましょう。

「第1回ドローンチャレンジミーティング (STEP 1)」では、ドローン事業に興味がある会員企業が集まり、情報交換を行います。航空法や免許制度、機体の選び方など、ドローンに関する様々なことを学ぶことができます。

初心者をはじめ、どのような方でも些細な疑問や悩みを解決することができます。

「第2回ドローンチャレンジミーティング (STEP 2)」では、実際に業務を行っている会員やスタッフなどの実務者レベルで情報交換を行います。ドローン事業の具体的な業務内容や受注方法、運用についてのノウハウ提供があり、ドローンを買ったけれども使い方が分からない、経験不足で困っているなどの参加者の悩みや疑問にも答えます。

最後にドローン事業は参入するための障壁は思うほど高い訳ではなく、熱心さがあれば誰でも可能な事業であると感じています。経営者でなくても興味がある社員に適切な教育環境を提供できればこの事業を進めることができます。また、印刷会社はどの分野とも親和性が高く、既存顧客の新たな売上拡大の戦略としても頼もしい選択肢となるでしょう。

ぜひ最初の一歩を一緒に踏み出してみませんか。

### ドローンチャレンジミーティング開催予告 / 詳細後日

#### 第1回ドローンチャレンジミーティング (STEP 1)

5月下旬 15:00～16:30 Zoom開催

#### 第2回ドローンチャレンジミーティング (STEP 2)

6月21日 15:00～16:30 Zoom開催

詳細未定ですので決定次第メルマガ等でご案内します

### あなたの会社を守る ジャグラ・グループ保険

特長1 掛金が割安です (例: 30歳男性、1口277円/月)

特長2 死亡時保障額は最高1600万円

特長3 事故による入院もワイドに保障

特長4 医師の診査はありません 告知のみでお申し込みいただけます

特長5 掛金のお支払方法も簡単です

お問い合わせはジャグラ事務局まで **Tel.03-3667-2271**

## 事務局日誌と今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

### 3月の事務局日誌

- 1日 地方創生部会→田中専務
- 3日 ジャグラコンテスト委員会 (Web会議)
- 4日 広報委員会 (ニッケイビル)
- 6日 グリーンプリンティング推進部会→田中専務
- 7日 共済会常任幹事会
- 8日 MIS研究委員会 (Web会議)、日印産連第6回ステコミ (日本印刷会館)→田中専務、東京グラフィックス理事会 (本部)→田中専務
- 9日 Pマーク現地審査 (福島)→並木・今田
- 13日 正副会長会議 (本部+Web会議)、日印産連知財部会→田中専務
- 14日 Pマーク審査会・個人情報保護委員会 (本部)、作品展委員会 (Web会議)、経産省取引改善検討委員会→田中専務、環境表彰審査委員会→田中専務
- 15日 日印産連理事会→岡本会長・田中専務
- 16日 生産性向上委員会 (Web会議)
- 17日 理事会 (本部+Web会議)
- 22日 業態進化委員会 (Web会議)
- 23日 地域活性化委員会 (Web会議)
- 30日 Pマーク現地審査 (九州)→今田
- 31日 Pマーク現地審査 (九州)→今田

### 4月のスケジュール

- 4日 広報委員会 (Web会議)
- 5日 MIS研究委員会 (Web会議)、JPA入学式→田中専務
- 6日 ジャグラ作品展第一次審査・第二次審査 (本部)、KOMORI 100周年式典→田中専務
- 7日 ジャグラ文化典高知大会打ち合わせ→岡本会長・田中専務
- 8日 ジャグラ文化典高知大会打ち合わせ→岡本会長・田中専務
- 11日 正副会長会議 (本部+Web会議)
- 12日 環境優良工場表彰審査委員会→田中専務
- 13日 ジャグラ作品展最終審査会 (本部)
- 21日 SPACE-21 総会
- 24日 定期監査 (ニッケイビル)、理事会 (本部+Web会議)

### 5月のスケジュール

- 10日 MIS研究委員会 (Web会議)
- 12日 Pマーク審査会・個人情報保護委員会 (本部)、自費出版ネットワーク総会→岡本会長
- 17日 日印産連第6回ステコミ (Web)→岡本会長・田中専務
- 18日 JP2023展→岡本会長・田中専務
- 19日 JP2023展→岡本会長・田中専務
- 22日 日印産連第一回理事会→岡本会長・田中専務
- 23日 正副会長会議 (本部+Web会議)
- 24日 東グラ総会→岡本会長・田中専務
- 26日 環境優良工場表彰審査委員会→田中専務、GP推進部会→田中専務
- 27日 中国地協総会→岡本会長

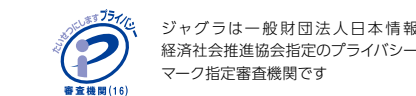
### 広報委員退任のご挨拶

65歳になるのを機に編集デザインの仕事から引退することになりました。長らくお手伝いしてきた機関誌編集の仕事も、今月号が最後となります。コンピューターメーカー勤務でスタートした社会人生活。その会社が日本語組版システムを開発していたこともあり、新聞・出版・印刷業界とのお付き合いが始まりましたが、縁あってジャグラ (当時は日軽印) に籍を置くことになり、89～97年の間、本部職員として広報 (機関誌編集) を担当していました。退職・独立してからもジャグラ時代に身につけた編集デザインのスキルで、仕事を今まで続けられたことはとても幸運でした。手がけたジャグラの仕事で印象に残っているのは「業界CI事業」「50周年史編集」「ジャグラビジョン2010策定」の3つで、いずれも本業界の将来について皆様方と一緒に「夢」を語り合った仕事です。「夢」を語らない業界に「未来」はありません。印刷業界を取り巻く環境は厳しいものがありますが、皆で知恵を出し合えば小さな会社であっても活路はひらけると信じています。長い間ありがとうございました。

広報委員 (有)インフォ・ディー 藤尾泰一

### 月刊「グラフィックサービス」857号

■発行日 令和5年4月10日 (毎月1回)  
 ■発行人 岡本 泰  
 ■編集人 本村 豪経  
 ■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ  
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16  
 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006  
 ウェブ https://www.jagra.or.jp/



■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

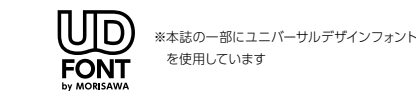
### ◎企画: ジャグラ広報委員会

担当理事 神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ / 副会長  
 委員長 本村 豪経 福岡・アイメディア(株) / 理事  
 委員 東海林正豊 秋田 / (株)東海林印刷  
 谷山 和也 東京 / 菁文堂(株)  
 野口 聡 東京 / (株)アクティブ  
 小澤孝一郎 山梨 / (株)オズプリンティング  
 安達 睦男 大分 / (有)舞鶴孔版  
 瀬尾 淳 広島 / (株)広瀬印刷  
 高知 健司 高知 / (有)三宮印刷  
 佐藤 愛子 大分 / (株)クリエイツ  
 田中 良平 専務理事  
 影山 史枝 外部委員 / (株)スイッチ  
 藤尾 泰一 外部委員 / (有)インフォ・ディー

◎原稿・編集・校正  
 田中 良平 並木 清乃 阿部奈津子  
 今田 豪 養島 智晴 長野未奈美  
 以上、ジャグラ事務局  
 藤尾 泰一 / (有)インフォ・ディー / 広報委員  
 日経印刷(株) / 校正のみ

◎渉外 田中 良平 並木 清乃  
 ◎広告 養島 智晴  
 ◎Web 阿部奈津子  
 ◎動画 今田 豪

◎組版 (有)インフォ・ディー  
 DTP = Adobe CS6/CC ほか  
 フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか



◎製版 / 印刷 日経印刷(株) (東京・千代田支部)  
 RIP = 大日本スクリーン Trueflow  
 CTP = 富士フィルム XP-1310R  
 刷版 = 大日本スクリーン PT-R8800ZX  
 印刷機 = ハイデルベルグ社 SM102-8P  
 インキ = DIC  
 用紙 = 三菱ニューVマット FSC-MX 菊判 62.5kg  
 ※本誌はFSC森林認証紙 (管理された供給源からの原材料で作られた紙) とLED-UVインキ (リサイクル対応型) を用い、環境に配慮した印刷工場で生産されています。  
 https://www.nik-prt.co.jp/

Copyright 2023 JaGra  
 禁無断引用  
 ※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です  
 原則、TMや®マークは省略しています  
 ※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたしません



# RMGT 970 が あなたの SDGs を アシスト Assist

“誰一人取り残さない”社会の実現を基本理念とし、全世界へ向けての持続可能な開発目標を掲げた SDGs (Sustainable Development Goals)。消費者や企業が、社会や環境面に配慮した商品やサービスを求める傾向が高まる中、印刷会社もそのニーズに応えることが求められてきています。

RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資源 / 省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社を強力にアシストします。



人に優しい

ワンボタン操作で楽々印刷の  
スマートアシストプリンティングで人に優しい



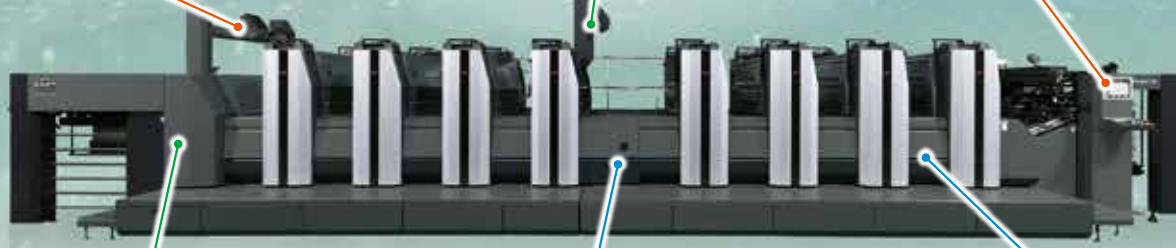
地球に優しい

品検・濃度・見当調整をインラインで行い  
損紙を減らせる PQS-D で地球に優しい



経営に優しい

アイコンやグラフを使った誰にでも解りやすい  
グラフィカルユーザーインターフェースで人に優しい



省電力で NonVOC な  
LED-UV で地球に優しい

短納期に対応できる  
ワンパス両面印刷で経営に優しい

刷版コスト、消費電力、設置スペースをセーブできる  
菊全判ジャストサイズだから経営に優しい



リョービ MHI  
グラフィックテクノロジー株式会社